

アンドロリュー・N・ポーター（編著）
横井勝彦・山本 正（訳）

『大英帝国歴史地図』

東 田 雅 博

本書は一四八〇年から今日に至るイギリスの海外進出の軌跡を描いた歴史地図である。ここには、北米植民、奴隷貿易、東インド会社の活躍、インド大反乱、アフリカ探検、南ア戦争、二つの世界大戦、第二次大戦後の脱植民地化、等イギリスの海外進出にかかわる主要な問題が地図化されて提示されている。これらの地図は、ポーターやP・J・マーシャルなどのこの『歴史地図』の著者たちによるオリジナルのだが、各地図には各著者による簡潔な解説も添えられている。本書の地図を、その解説を読みながら見ることで大英帝国の歴史があなたも手に取るように理解できる仕掛けになっているのである。

歴史地図はこれまでに様々なものがすでに出版され、翻訳されている。イギリス帝国史に限っても、クリストファー・ベイリー編集のものがすでに出版され、翻訳されている（中村・石井・藤井訳『イギリス帝国歴史地図』東京書籍一九九四年）。本書は白黒だが、ベイリーのものでカラー刷りであり、地図だけではなく、図版も豊富でなかなか楽しい読み物になっている。だが、そこがベイリーの『歴

史地図』の弱点でもある。ベイリーのもので『歴史地図』というよりもイラスト入りのイギリス帝国史概説というべきものであって、そこに地図も挿入されているが、どちらかといえば添え物という感をもぬがれない。ベイリーの『歴史地図』を貶めようというわけではない。「歴史地図」としてはベイリーのものでポーターのものとは比べると見劣りがあるというにすぎない。それだけ、ポーターの『歴史地図』は「歴史地図」として圧倒的な内容をもっているのである。実際、ポーターの『歴史地図』には大英帝国に関する、考えられるほぼあらゆる情報が地図化されているのである。宣教師による伝導の世界的拡大までが地図化されているのである。とりわけ、貴重なのはインドの「高原避暑都市」シムラ等の植民地諸都市の地図である。例えば、シムラの地図には副王の公舎、軍隊本部、連合軍人クラブなどの所在が記され、デリーの地図には帝国集会（一八七七年）、戴冠式（ダーバル、一九〇三、一九一一年）の開催場所が記されているのである。その他の都市についても興味深い情報が地図化されている。この植民地都市の地図だけでもこの『歴史地図』

を見る価値があるといってもさほどオババーではないであろう。

ところで、ポーターはこの日本版に対して「序」を寄せているが、その中で、近年圧倒的な影響力を持つようになった「ジェントルマン資本主義」論とそれをベースとする帝国主義論をかなり厳しく批判している。それは、帝国主義をイギリス本国の動向を中心に説明し、非ヨーロッパ世界の事情を無視・軽視しているというのである。ポーターは、帝国主義の説明には、帝国主義本国の事情とともに、帝国主義の餌食になる「周辺」世界の事情をも重視すべきだと考えているのである。このポーターの『歴史地図』はこうした彼の帝国主義理解が反映されている、といえる。実際、この『歴史地図』をみていけば、大英帝国の膨張が、ただイギリスの様々な国内事情のみによって惹起されたものと理解することは困難であろう。この『歴史地図』は帝国主義の多様な要因を考えさせることにもなるのである。

とはいえ、この『歴史地図』にも問題がないわけではない。本書には様々な問題が地図化されていると先に述べたが、抜け落ちて重要な問題がないわけではない。例えば、ハイアムが明らかにした娼婦の国際的ネットワーク (R. Hyam, *Empire and Sexuality*, 1990) である。こうした問題にも目配りしていれば、この『歴史地図』はより一層内容豊かなものとなっていたであろう。しかし、なによりも残念なのは、鉄道、蒸気船などの交通網について地図化されているのはいうまでもないのだが、航空機による場合以外には所要旅行日数・時間が明記されていないことである。例えば、イギリスからインドまでの所要旅行日数が四ヶ月(一八三〇年代)から一七日(世紀末)に減ずる意味はきわめて大きいのである (M. Cooney & G. Ochoa, *The Encyclopedia of the Victorian World*, 1996)。と

くに、帝国主義を非ヨーロッパ世界―「周辺」世界の事情をも考慮に入れて考えようとするときには、ますますこうした事情・ポーターの持つ意味は大きい。本書の帝国主義理解と整合性を持たせるためにも、こうしたポーターを充実させねばならないだろう。しかし、先に述べたように本書の提示する大英帝国に関する情報は圧倒的である。本書は、西洋―イギリス以外を研究するものにも大いに役立つであろう。

(一九九六年七月刊、東洋書林、二九四頁、一八五四〇円)

(富山大学人文学部)